

室内ペタンク

人数	2 - 12名（各チーム最大6名）
用具	<ul style="list-style-type: none">・室内用ペタンク（赤、青各6個）5セット・ビュット（黄色の標的）
プレー方法	<ul style="list-style-type: none">・各チームが赤又は青の6個のペタンクを持ち、まず先行するチームがビュットを投げて標的の位置を決定して、その標的を目指して第1球を投げる。次に相手チームが投げて、自チームの球が標的に遠いチームが相手のボールより標的の近くにくるまで投げ続ける。ビュットの位置は、コートの上の長さの範囲であらかじめ決めておく。・コートの上の大きさは幅3m前後で、長さは競技者の体力・状況等を考慮して、3 - 12mの範囲で決定する。ペタンクの投てき位置として、コート内に直径1m前後のサークルを設定しておく。・自力でペタンクを投げるのが困難な競技者の場合は、介助者が手助けする、標的により近い距離から投げる等の配慮が必要である。・12個のペタンクを投げ終わったセット終了時点で、相手のベストボールよりビュットに近いボールの数が、そのセットの勝利チームの得点となる。ゲームは、あらかじめ決めていたセット数での得点の多いチーム、もしくはどちらかのチームが13点を先取した方のチームが勝者となる。・標的のビュット、標的球に近い相手ボール等をはじき飛ばすことも可能である。・投球は手の甲を上にしてボールをつかみ、逆回転をさせるアンダースローの投げ方が基本となる。但しそれぞれが自分に合った投げ方を採用することに問題はない。・特別支援学級の生徒等がプレイする際は、上記ルールにこだわらず、コートの上の大きさ・サークルの設定・ビュットの位置・ペタンクの投てき回数等々を、競技者の体力・運動能力に応じて柔軟に設定して、より楽しめるように工夫することが重要である。・当ゲームの実施を希望する際は、活動場所を別途予約の上、社会教育セクションにご連絡ください。

ペタンクマニュアル

■ペタンクについて

ペタンクは、どこでもほんの少しのスペースで気軽にプレーできます。
ゲームではたった1球で形勢を有利にしたり、大量得点をとったりするところに面白さがあります。
その為、集中力を必要とし、巧妙な戦略や高度な技術を身につけなければなりません。
思い通りの投球ができたり作戦が的中した時には、この上ない爽快感があるものです。

■用具

- 1セット内容
ペタンクボール×12
(青ボール×6個)
(赤ボール×6個)
・ビュット×1



【詳細】

- ・用具について



ペタンクボール
サイズ:直径82mm、重量:約280g 牛皮



ビュット
サイズ:直径30mm

■ルール

◇ゲーム形状について

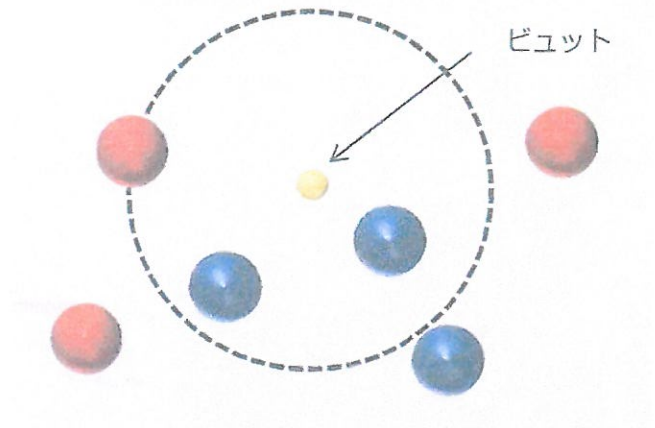
- ・シングル、ダブルス、トリプルス
- ・持ち球…シングルス(1人3球)、ダブルス(1人3球)、トリプルス(1人2球)

◇ゲームの進め方について

- ・先攻、後攻を決める
- ・地面に直径35～50cm程度のサークルを用意する。
- ・先行者がそのサークルからビュットを投げる。
- ・ビュットはサークルから6m～10mの間に止まるまで投げる。
- ・ビュットが止まったら先行者からビュットに近づけるようにボールを投げる。
- ・次に後攻者が、ビュットに近づけるようにボールを1球投げる。
- ・1球ずつ投げ終わった後、ボールがビュットから遠い者がボールを投げる。
- ・このとき、相手のボールよりビュットに近づけるまで投げ続ける。
- ・一方のボールがすべてなくなったら、もう片方のボールがなくなるまで投げる。
- ・相手のビュットに一番近いボールの内側にある、味方のボールの分だけ得点になる
- ・先に13点先取した方が勝ちとなる。

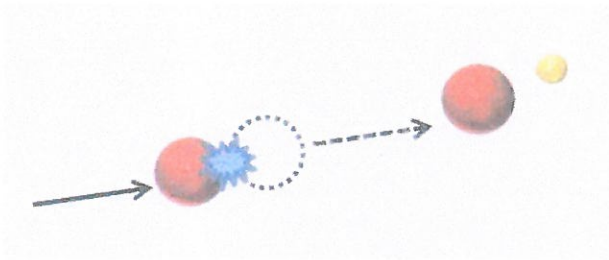
◇得点の図解説明

- ・この場合、ビュットから1番近い赤ボールまでの距離を半径とした円内に、青ボールが2個入っているのを、青ボールの者に2点入るといふことになる。

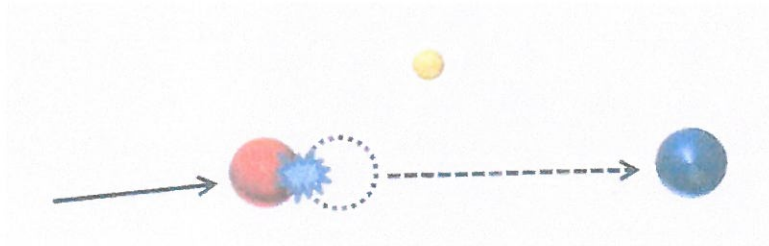


◇戦術について

- ・味方ボールに当てて近づける。



- ・相手ボールをはじきとばす。



- ・ビュットに当てて移動させる。

